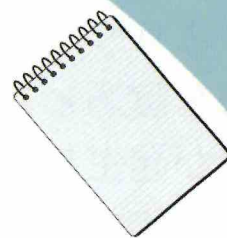




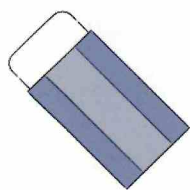
小学生対象



第1回

未来に伝えたい 阪神・淡路大震災

1. 17 震災作文コンクール



- 対象 小学生（兵庫県内外は問いません）
個人でも、学校単位でもかまいません
- 内容 阪神・淡路大震災やほかの災害、防災について、
わたしが聞いたこと、学んだこと、未来に伝えたいこと
- 字数 400字～800字（原稿用紙1～2枚）
- 応募方法 原稿用紙か、普通の紙に規定の字数に収まるように書いて、郵便かメール
で送ってください
題名と学校名、学年と名前を明記（原稿用紙の場合は欄外に）
メールは添付、文章の貼り付け、どちらでもかまいません
- 締め切り 2026年3月1日必着
- 審査・発表 最優秀賞、優秀賞、特別賞などを選考し、記念品（図書カード）を贈
呈。来年3月以降に神戸新聞紙上で発表
審査委員長は阪本真由美・兵庫県立大学大学院教授
- 応募先・問い合わせ 〒650-8571（住所不要）神戸新聞社編集局
「震災作文コンクール」係
メールはsakubun@kobe-np.co.jp（問い合わせ共通）
応募者の住所、保護者名、連絡先（電話番号、メールアドレス）を明記
学校単位の場合は学校の連絡先で可

震災や災害について 伝えたいこと 書いてみよう



1995年1月17日午前5時46分、淡路島北部を震源とするマグニチュード（M）7.3の地震が発生しました。史上初の震度7の激震で多くの建物が倒壊し、火災も起こりました。死者は6434人、行方不明者は3人。家族や大切な人を失った悲しみはいまも続いています。

発生から30年がすぎ、あの日の記憶が遠のくなか、いまでも多発する自然災害から命を守るために、震災の教訓を語り継ぐ重要性はますます高まっています。神戸新聞社は記憶を未来につなぐ取り組みとして、「1.17つなぐプロジェクト」を始めました。小学生を対象に行う「第1回 1・17震災作文コンクール」もその一環です。

作文は阪神・淡路大震災のことだけでなく、災害や防災のことならなんでもかまいません。学校や家庭、地域で教わったこと、自分で勉強したこと、思ったこと、みんなに伝えたいことを作文に書いて送ってください。応募をきっかけに震災について語る機会が増えることを期待しています。どんどん応募してください。

震災を学べるウェブサイトを開設しています

1.17つなぐプロジェクト

1.17 TSUNAGU PROJECT

あの日を語る動画、当時の新聞、アンケートなどさまざまなコンテンツがあります。このサイトで学んだことも、ぜひ作文コンクールの題材にしてください

こちらから▷▷

